



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S

The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-202 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998

国際会長主題	「心新たに立ち上がろう」	“Once More We Stand”
アジア地域会長主題	「心新たに立ち上がろう」	“Once More We Stand”
西日本区理事主題	「飛翔たとうワイズスピリットを胸に」	”Forward with Y's men's spirit in our Hearts”
中部部長主題	「ワイズは フェイス to フェイス！」	
金沢クラブ会長主題	「ワイズの輪は 豊かな心で 広めよう」	

4 月間強調 YMCA サービス ASF

2011

今月の聖句

この言葉は真実であり、そのまま受け入れるに値します。わたしたちが苦勞し、奮闘するのは、すべての人、特に信じる人々の救い主である生ける神に希望を置いているからです。

テモテへの手紙 4章9～10節

4月強調月間

YMCAの歴史に学び、使命を理解して、サポートの体制を強化しよう。

亀裏正行 Yサ・ユース事業主任

(熊本にシクラブ)

4月例会プログラム

とき 2011年4月21日 (Thu.) 18:30～20:30
 ところ 金沢ニューグランドホテル

司会 山谷 澄君

開会・点鐘 数澤 会長

主 題 司 会 者

ワイズ・ソング 一 同

今月の聖句 司 会 者

ハッピーバースデー 数澤 会長

ゲスト紹介 伊藤 仁信君

食前の感謝 澁谷洋太郎君

~~~~~会 食~~~~~

スピーチ 帆 莉 宏典氏

「出会い」は人生最大のドラマ

ービジネスの原点は“出会い”ー

委員会報告 各 委 員

ニコニコタイム 幸正 一 誠君

Y M C A の 歌 一 同

閉会・点鐘 数澤 会長

### 3月クラブ活動状況

#### 第1例会 (3月17日 Thu.)

メ ン: 伊藤、影山、数澤、高口、幸正、澁谷、  
 山内、山谷、山本 (9名)

メキヤップ: 草野 (1名)

出席率: 100%

メネット: 伊藤、数澤、高口、山内、山谷、山本  
 (6名)

ゲスト: 吉井健一氏 (1名)

功労会員: なし

#### 第2例会 (3月1日 Tue.)

メ ン: 伊藤、数澤、澁谷、山内 (4名)

メネット: 山内 (1名)

ニコニコタイム 12,000円

クラブファンド 累計 94,100円

#### B Fポイント

切手 1kg 累計 1kg

現金 15,000円 累計15,000円

会 長 数澤 輝夫 書 記 幸正 一誠  
 副 会 長 山内 健司 会 計 高口 昇  
 高口 昇 ネット会長 山内ミハル  
 直前会長 数澤 輝夫

第一例会: 毎月第三木曜日 18:30～20:30  
 金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311  
 第二例会: 毎月1日 18:30～20:00  
 金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)

## 「国家の品格」を読んで

山内 健司

著者 藤原正彦 東京大学理学部数学科修了。作家新田次郎、藤原ていの次男 その、「惻隱の情の大切さ」を解く。一ノ谷の合戦の際、熊谷直実が敵の武将を捕らえた。殺そうと思って顔を見ると、まだ若い。十五歳の平敦盛だった。自分の息子ぐらいの歳である若者を殺しているものかどうか直実は思わず逡巡した。さすが平敦盛は「首を討て」と直実に命令します。しかたなく首を討つ。その後直実は出家してしまう。このような敗者、弱者への共感の涙、これが日本の無常感である。お能の「敦盛」が今でも延々と演じられているのもこういう無常感、武士道という惻隱に近いものが、今も日本人の心の中に流れていて、心を揺さぶられるからでしょう。

この無常感はさらに抽象化されて「もののあはれ」という情緒になりました。日本の自然の中で移ろいゆくものに美を発見してしまう感性です。

その二 江戸時代、会津藩に日新館という藩校がありました。ここに入る前の子弟に対して「<sup>じゅう</sup>什の掟」というのがありました。そこにはこう書いてありました。

- 一つ 年長者の言うことに背いてはなりません
  - 二つ 年長者にはお辞儀をしなければなりません
  - 三つ 虚言を言うことはなりません
  - 四つ 卑怯な振る舞いはなりません
  - 五つ 弱いものをいじめてはなりません
  - 六つ 戸外で物を食べてはなりません
  - 七つ 戸外で夫人と言葉を交えてはなりません
- 七つ目を除いて、これら七箇条の後ろにはこんな文句で結ばれています。

ならぬことはならぬものです。  
要するに、これはいけないことはいけないといっている。

この「惻隱の情」と、「ならぬことはならぬものです」とのこの二つのことが日本文化の基礎となることと思います。世の中、合理主義がはびこっていますが、日本にはこれらの情緒があります。

### 【3月例会報告】

お菓子について話す機会を与えて頂き、嬉しく思います。私は森八の菓子しか知りませんが、森八の菓子即ち金沢を代表するものと思っています。

お菓子は、人々の心を安らぎとゆとりある生活にするために三度の食事に次いで必要な食物の一つと考え

### 帆苅 宏典氏 プロフィール

昭和 10 年 7 月 新潟市生まれ。

昭和 45 年 8 月 大和経営企画室

昭和 47 年 3 月 金沢ニューグランドホテル

副支配人

昭和 63 年 4 月 金沢ニューグランドホテル

専務・総支配人

平成 11 年 3 月 退職

在職中は、金沢市・石川県・日本のホテル・観光業等の役職を兼務。退職後は野々市町の教育・行政・公共の役職等広範囲にわたり活躍。

ます。その多くの人々にとって大事に必要な菓子作りに、携わってきた先輩の菓子職人と同様に、私の人生の半分以上を、この仕事に携わってきたことの人生意義が、確認できたことに満足し感謝しています。

現在食べられている菓子は、明治・大正から昭和にかけて、一般の人々に親しまれてきました。

しかしこの菓子業界もとても辛い氷河期を経験しなければならなかった。昭和 12 年から始まった日・支事変、それに続いた第二次世界大戦によって店からお菓子が消えていきました。菓子に携わっていた人達は戦場か軍需工場に行かざるを得なかった。私の父も 4、5 人の人を使って、菓子の製造卸をしていたが、砂糖や粉の配給がなく、廃業せざるを得ず、志願して陸軍へ、そこで兵隊のための菓子作りをしていました。復員後間もなく急死。やむなく母と妹、私の 3 人の生活のため、菓子作りの路へ。



私が森八に入ったころはまだ食糧管理法によって食料品はすべて廃共生で三度の食事は米の飯は勿論、食べることが大変でした。人々は甘いものに飢えていて、それに応えて闇屋は甘藷や小豆を秘かに手に入れ砂糖の代わりにサッカリン、ズルチンの甘さで客の舌を何とか喜ばせていました。

戦前の誇り高き職人たちにとってはとても、妥協はできるものではありませんでした。幸い森八は特別に県庁から菓子組合を通して砂糖や、もち米、うるち米の配給を受け、細々と私を入れ5人で菓子をつくっていました。その頃のことを或る人が本に「終戦後、粗悪な菓子がぞく生し、わが世の春を謳歌しつつ横行し、伝統の良菓をはじきだしている。経済学になぞらえて『悪貨が良貨を駆逐する』という言葉があるが、その心理を如実に表しています。菓子を知る人たちは顔をしかめ、このままでは折角の日本伝来の和菓子も次第に虐げられてしまうのではないかという危惧を持った。」と書いていた。森八はかろうじて、昔から品質を落とすことなく細々と菓子作りを続けることができました。

一般には依然として食糧事情は厳しかったのですがアメリカから食料物資が供給されました。すべてお米の代わりに配給されました。ある時キューバ糖（黄色い粗目）が供給になったのですが舐めてばかりでは飽きてしまいました。そこで極楽饅頭造りが、一般の人たちに流行りました。甘いものに飢えていた口には、極楽だったことからでしょうか、これは南蛮菓子の{カルメラ}でした。（カルメラの作り方は省略）森八は配給だけでは仕事にならないので砂糖のほか、米、小豆等を非合法ながら手に入れ菓子を作りました。これは必要悪といえますか。この頃、ある裁判官が闇の食料を口にせず、栄養失調で死亡しています。彼はクリスチャンだったということです。

奈良時代孝謙天皇の天平勝宝6年(754年)中国から来朝した僧・鑑真和浄が黒砂糖（原産地はインド）を天皇に献上したのが砂糖の日本渡来のはじめ。砂糖が大量に出回るようになったのは信長の頃。砂糖の需要が増え国内で砂糖きびの栽培を試みたが沖縄と徳島で成功。和三盆糖として珍重されました。森八の長生殿はこの和三盆が使われている。長生殿は日本三名菓の一つ。昔から食べられているものに饅頭や羊羹があります。森八の黒羊羹は店の特製。餡が違う。森八の井戸水は鉄分を含んでいるので餡が黒くなる。その餡を使うので、真っ黒の羊羹が製造されるのです。

饅頭は室町時代にその製法が中国から伝えられた。中国の宋の時代に留学した建仁寺の竜山禅師を慕って日本へ来た林浄因は移住、得意とする饅頭を製造し、奈良饅頭と名付けて売り出した。はじめは餡が入っていなかったが、後に餡を包んで売り出しました。

和菓子の発達には茶道が盛んになったことが起因する。森八の菓子作りが京都に劣らないのは、加賀百

万石では武家や商家などで茶の湯が盛んだったからかもしれない。

江戸時代鎖国をしていたが、鎖国後も幕府は砂糖と南蛮菓子だけは輸入した。この時入ってきた南蛮菓子は、カステラ、金平糖、有平糖、カルメラがある。カルメラは私が森八へ入ったすぐの頃、キューバ糖で作った極楽饅頭のことである。カステラは今では和菓子店になくはならない菓子である。現代では、チョコレート、ケーキなど洋菓子もよく食べられるが、あんこ等を使った和菓子は、日本茶のお茶受けとして廃れることはないでしょう。

## ~~~~~ お知らせ ~~~~~

☆EMC目標数は2名です。

全員でアタックしよう！ 1名は入会、あと1名です。目標達成を目指して、もう一息頑張ろう！

☆平成23年用年賀ハガキ・年賀切手（くじ付）当選番号

4等（下2桁）が**69,02**です。

例会に4等当たり切手シートをご持参ください。次期のCS献金にいたします。

☆東北関東大震災募金のお願い

3月例会では10,000円の募金がありました。今期、4月～6月まで例会のときに募金をいたします。皆様のご協力をお願いします。

☆第2回中部評議会

日時 2011年3月21日（月・祝）  
会場 名古屋YMCA  
参加者 中部 澁谷部長、幸正書記、伊藤会計、  
数澤メネット事業主査、数澤会長（5名）

☆京都パレスクラブ40周年記念例会

東北関東大震災のため中止。

☆ワイズメンズクラブ国際協会第14回西日本区大会

日時 2011年6月11日（土）～12日（日）  
会場 ウェスティン都ホテル京都  
京都市国際交流会館  
皆さん参加の準備をしましょう！

~~~~~ YMCA だより ~~~~~

☆早天祈祷会

日 時 2011年4月1日(金) 6:00~7:00
場 所 金沢YMCA集会室

☆たけのこキャンプ

日 時 2011年4月29日(金・祝) 10:00~15:30
場 所 金沢市窪の竹林「川村家所有地」
雨天の時 北陸学院ライザ一館
参加費 2,000円

Happy Birthday

小笠原 昭二君 4月 3日
幸正 一誠君 4月15日

5月の担当

5月 ブリテン執筆: 数澤 輝夫君
伊藤 悦子さん
5月 卓話担当: 数澤 輝夫君

~~~~~ メ ネット 報 ~~~~~

3月メネット会例会

今月は陶芸教室です。  
3月27日(日)午後2時ということで、1時ころ数澤メネットさんの車で出発しました。  
金沢市折谷町、湯湧温泉の手前の三叉路を左へ曲がってくるま10分から15分位、医王山の方角に行く路ということです。車一杯の道路を、このあたりかなと探していたところ、後ろの方から声がかしてびっくりしました。まだ雪が、150cm位あり、冬場はトンネルのように掘って県道まで出るそうです。



教えてくださるのは、金沢教会の稲積佳谷さんです。粘土のような陶土を前に作り方の順序要点を教わりました。土を手にした時、子どもの頃の粘土遊びを思い出しました。最初小さめのターンテーブルに土台となる部分を形取って置き、それをもとに1cm位の棒状にした紐をつくり、外側からうまくつまんでならし、形を整えて、その動きの繰り返して、思い思いの形に仕上げます。伊藤さんと私は茶器又は小どんぶり?数澤さんと山本さんは、開いたお皿系の器?で、1時間余りでできました。色も各人が紙に書いて名前と共に器に入れました。でき上がりが楽しみです。でもこの後講師が何回かの工程をされて仕上げてくださいるのです。

どうぞよろしくお願ひいたします。  
その後、お抹茶とお菓子をいただきました。また、作品が展示してあるのを拝見したり、写真に撮ってある作品を見せて頂き、楽しいおしゃべりのひとときでした。お天気はよく晴れて、小鳥がさえずっていましたが、気温の低い1日でした。  
出席者 数澤、伊藤、山本、山谷(4名)  
(山谷 明代 記)

【メネット会 4月例会のお知らせ】

メネット会の4月例会は、お花見例会です。4月に入って急に春らしくなってきました。桜前線も北上しつつあり、金沢でも開花宣言が出されました。そこで下記のようにお花の下で、美味しいお食事をいただきながら、この1年のメネット会の反省?をしたいと思ひます。  
また、3月11日に起きた、東日本大震災による被害の全容は未だ明らかになってはいません。仙台出身の伊藤メン・メネットさんが、先日その現場を見てられました。ホテルで震度6弱の地震も経験されたそうです。テレビなどでは報道しきれない、生々しいその様子をお聞きできると思ひます。メンの参加も歓迎します。お揃いでお出かけください。

日 時 4月17日(日) 13:00~  
場 所 KKRホテル金沢  
金沢市大手町2-32  
TEL 076-264-3261  
会 費 一人 1,600円程度  
担 当 伊藤メネット